

人権 INAGAWA

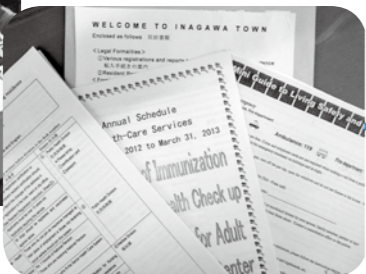
木津総合会館では、人権・同和問題の課題に取り組み、一人ひとりの個性を尊重し、お互いの違いを認め合い、共に支え合う差別のない人権文化に満ちたまちづくりを進めています。



外国人住民を含むすべての人が
幸せに生きる社会を築こう

多文化共生への町の取り組み

- ① コミュニケーションの推進
 - ▷ 姉妹都市（バララット市）との交流
 - ▷ 多文化共生講演会の開催
- ② 公共機関の外国語表記
 - ▷ 公共施設や観光施設などの案内表示の外国語併記
- ③ 社会活動の支援
 - ▷ 外国籍住民からの相談などに的確に対応するため、外国人生活支援コーディネーターの配置や通訳ボランティアの派遣
 - ▷ 国際交流協会との連携
 - ▷ 町作成情報誌の外国語併記など
- ④ 子どもたちの支援
 - ▷ 日本語指導支援制度の活用・学校での多文化共生教育



印刷物外国語表記

急速に外国人住民が増加する中で、外国人にかかわる人権課題が、身近な問題となってきています。背景には、人種や民族性・宗教・習慣などへの理解不足による偏見や固定観念が根底にあります。一人ひとりが正しい知識を身につけ、国際感覚を養うことが求められています。

外国人住民の現状は？

1990年（平成2年）に入管法が改正され、中南米諸国出身の日系人、特にブラジル人が全国的に増加しました。また、1993年（平成5年）の外国人研修・技能実習制度が実施され中国人を中心に増加しました。

これらの人たちを「ニューカ

多文化共生って？

2008年（平成20年）の猪名川町人権意識調査によると、

「マ」と称するのに対し、特別永住在留資格の韓国・朝鮮籍の人たちを「オールドカマー」と称します。猪名川町では、1952年（昭和27年）当時では外国籍の住民のほとんどが「オールドカマー」の人でしたが、国同様に「ニューカマー」の人たちが増加しています。2012年（平成24年）の猪名川町の外国人住民は、148人で、町の総人口の0.46パーセントです。

外国人の住民は「就職・職場での差別や不利な扱いがある」と考える人が約30パーセントあります。また、住宅の申し込みや入居、社会保険制度の不利な扱い、文化の違いからのいやがらせがあるのではと回答した人も20パーセントを超えています。滞在の長期化、定住化、日本に生まれ育ち外国にルーツを持つ子どもたちが増加している中、外国人住民を含むすべての人が国籍、宗教、言語などの違いによらず、対等な地域社会の構成員として共に生きることが多文化共生を実現する社会環境を作っていくことが重要です。

活力とにぎわいのあるまち 猪名川

～ 都市・産業・観光 ～

【新規】

- ◇ 農業用施設改良事業 80万円
大規模地震や想定を上回る豪雨によるため池の決壊、老朽化などによる機能低下が懸念されるため、ため池の耐震及び老朽化点検を行い、災害の未然防止に努めます。
- ◇ 道路改良事業 3,322万1千円
町道広根6号線等道路改良事業について、新名神高速道路事業の進捗に合わせ整備を進めます。

【拡充】

- ◇ 産地形成振興対策事業 676万5千円
ほ場及び経営規模に合わせた小規模なパイプハウス設置のニーズに対応するため、平成25年度は新たに200㎡未満のパイプハウスに対する補助制度を設け、設置経費に対する助成を行い、地域農業・道の駅の活性化に向け取り組みます。
- ◇ 里山再生整備事業 1,217万9千円
「里山再生基本構想」に基づき、しいたけ原木伐採奨励助成事業や竹資源循環利用事業、町森林組合が実施する薪製造販売事業の支援により、木質資源の利用に向けた仕組みの構築に取り組みます。



また、循環型社会の一助となる木質バイオマスの需要拡大及び普及啓発を目的に、公共施設、楊津小学校にペ

レットストーブを設置し、住民にも里山再生の取り組みに参画していただくため、一般家庭および事業所におけるペレットストーブや薪ストーブ設置に対し支援を行います。

- ◇ 緊急雇用創出事業 1,699万6千円
厳しい雇用失業情勢にかんがみ、緊急雇用就業機会創出基金を財源とし離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者などの失業者に対して、次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供するなどの事業を実施します。
- ◇ 大野山管理運営事業 1,779万5千円
展示棟、避難小屋、トイレの屋根修繕を行うとともに、老朽化した看板を一部リニューアルします。

【主な継続事業】

- ◇ 公共交通の充実（町内循環バス運行事業など） 2,711万2千円
- ◇ いながわ桜まつり支援事業 292万9千円
- ◇ 道路維持補修事業 6,102万4千円
- ◇ 橋りょう維持補修事業 3,510万円
- ◇ 特別指定区域制度の活用 130万7千円



人びとと行政が
ともに歩むまち 猪名川
行政運営

【新規】

- ◇ 第五次総合計画 後期基本計画の策定 346万8千円
まちづくりの指針となる第五次総合計画後期基本計画を、2力年で策定します。平成25年度は、前期基本計画の検証、アンケートによる住民意向の把握とともに、計画策定の段階から、住民によるワークショップを開催するなど、町のまちづくりへの主体的な参加を通して参画と協働の推進を図ります。
- 【主な継続事業】
- ◇ コンビニ収納サービス事業 1,022万7千円
- ◇ 地籍調査事業 2,095万円

問合せ 企画財政課
(☎766・8711)

2013 いながわ桜まつりで、歩行者天国となる原広根線

人権 / INAGAWA

平成 24 年度 入選作品の紹介

人権教育・人権啓発をより一層推進するための標語、絵手紙、習字の作品を住民の皆さんから募集し、247 点の応募がありました。人権啓発冊子編集委員会で審査を行い、各 6 点の入選作品を決定し、平成 24 年 12 月 8 日の「人権を考える町民のつどい」で表彰式を行いました。
※絵手紙の入選作品は、31 ページの「ふおとにゆーす」欄に掲載しています。

作品	名前
あいさつは えがおいっぱい うれしいな	三井 鮎さん (大島小学校 4 年)
いじめない ぜったいだれも いじめない	瀧川 翔流さん (大島小学校 5 年)
いやなこと しないさせない ゆるさない	祐谷 虎太郎さん (大島小学校 5 年)
支え合い 人との絆 深めよう	清水 宏太さん (大島小学校 6 年)
いじめ見て せめて知らせる 勇気持て	前市岡 勉さん (旭ヶ丘)
やさしさに 触れて嬉しい 老いの身は	森 逸子さん (鎌倉)

《標語》

《習字紙》

小六 笑顔
根木 彩伽
ねぎ あやか
根木 彩伽さん
(白金小学校 6 年)

中一 友愛
中西 満里乃
なかにし まりの
中西 満里乃さん
(猪名川中学校 2 年)

晴恵 輪
はらだ はるえ
原田 晴恵さん
(伏見台)

一なんはしめとめと
わ
はしもと ゆめと
橋元 夢叶さん
(白金小学校 1 年)

小三 あ助け
おすみ ゆい
尾住 優衣さん
(白金小学校 3 年)

小四 い明心る
つじもと はるみ
辻本 晴美さん
(白金小学校 4 年)



▲こども美術ラボ
◀フラダンス教室



教室 A 春の子どもパソコン教室

教室	月日	内容
①	3月26日(火)	新学期グッズを作ろう(ネームシール・マイカード・アイロンプリントネーム)
②	3月27日(水)	
③	3月27日(水)	
④	3月29日(金)	
⑤	3月29日(金)	

▷対象 小学生(新1年生の参加可)
▷時間 ①・③・⑤=午後1時30分~3時30分、②・④=午前10~12時
▷教材費 300円

教室 B かめさん教室(初心者向け)

教室	日時	内容
①	3月19日(火) 10:00~12:00	オリジナルグッズの作成
②	4月9日(火) 10:00~12:00	名刺の作成
③	4月11日(木) 10:00~12:00	パソコンでお絵かきオリジナル一筆箋
④	5月21日(火) 10:00~12:00	パソコンのメンテナンスとセキュリティ
⑤	6月11日(火) 10:00~12:00	写真入り暑中見舞いの作成(使いたい写真のデータを持参)
⑥	6月17日(月) 10:30~12:30	

▷対象 初心者
▷教材費 100~300円

パソコン教室・春の受講者を募集
初心者の人も楽しみながらパソコンを使いこなしてみましよう。
▽定員 各教室6人(多数抽選)
▽対象 町内在住(初めて受講する人を優先)
▽申込受付 3月4~8日
▽申込方法 電話により同

受講料 無料(別途教材費を当日徴収)
日(定員に満たない時は継続)
館

パソコン教室・春の受講者を募集



▲ネームシールの作成

※各教室は予定であり、確定されたものではありません。

問合せ 木津総合会館 (☎ 768 - 0217)

平成25年度

木津総合会館講座 の受講者を募集

▽対象 町内在住の人
▽申込受付 継続の人も新たに申込み、代理での申込みは不可
▽申込期間 定員になり次第締切(新規申込受付) 3月4日9時~「継続申込受付」3月11日9時~
▽受講料 無料
▽保険加入 講座や加入日により違いあり(要確認)
▽申込先 同館

差別のない人権文化に満ちたまちづくりを進めていくためには、人と人が豊かにつながり、認め合うことから始まります。講座を通して、交流の輪を広げることが目的として開催しています。

人権について知識を深めた一日

2月9日に文化体育館で、第42回町人権・同和教育研究大会を開催し、約180人が参加しました。午前は、関西学院大学の五百住教授の「子どもにいのちの大切さを実感させることから」をテーマにした講演を、午後は、猪名同教9つの専門部会が一年間取り組んだ実践を4分科会に別れて報告するなど、一人ひとりが人権について深く学ぶ一日となりました。

